

2024 年度 0 時間目の記録

2024 年 4 月 22 日(月)~28 日(日)

栽培中の植物

セルトレイ <ul style="list-style-type: none">● ジニア(プロフェュージョンレモン)● マリーゴールド(ボナンザミックス)● センニチコウ(オードリーホワイト、)● ジニア(プロフェュージョンチェリーバイカラー)● ジニア(プロフェュージョンダブルホワイト)● バジル	ポリポット <ul style="list-style-type: none">● エダマメ(いきなまる) プランター <ul style="list-style-type: none">● ハツカダイコン(赤丸)● ハツカダイコン(キスミー) 底面吸水 <ul style="list-style-type: none">● コリウス
--	---

栽培管理内容

日時	天気	気温	管理・植物の様子・指導
4/22(月) 9:00	曇り	気温(23℃)	<ul style="list-style-type: none">● 灌水● ハツカダイコンの本葉がさらに成長し重なり合うものも出てきた● エダマメの本葉も出始めた
		最高(29℃)	
		最低(16℃)	
4/23(火) 8:00	曇り	気温(20℃)	<ul style="list-style-type: none">● 乾いているポットのみ灌水● ポットを並べて管理していると、同様に灌水を行っていても、列端にあるポットは土が乾いていて、中央にあるポットはまだ湿っていることがある。風通しや日光の当たり具合によって、乾き具合や成長の速度が異なってくるため、灌水の頻度に注意し、どこが乾きやすい場所なのかを把握しておくことよい
		最高(28℃)	
		最低(17℃)	
4/24(水) 9:00	曇り	気温(22℃)	<ul style="list-style-type: none">● セルトレイに灌水● ハツカダイコン 2 回目の間引き(写真1) 苗の間隔を約5cmにした● スペースング スペースングとは、ポット苗同士の間隔を空けることである。成長して大きくなった苗同士の接触を減らして、光の入り具合や風通しを改善する。また、これを行うことで一つ一つの苗に灌水しやすくなる● 摘心(写真2) 摘心とは、植物の先端の芽(頂芽)を切り取ることである。株が小さい状態で花芽をつけたままにしておくと、花を咲か
		最高(22℃)	
		最低(16℃)	

2024 年度 0 時間目の記録

			<p>すことに養分を消費してしまい、葉や株自体の成長が遅れてしまう。先端の芽を切り取ることで腋芽の発生を促し、充実した株にする。切り詰めすぎて葉をなくしてしまうと、光合成が十分にできなくなるため葉を残し、花芽を取り除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 園芸療法を行うにあたって 「せっかく出た花芽を切りたくない」「かわいそう」と摘心を拒む対象者もいる。下から出てきている腋芽を見せたり、植物が立派に育つために必要であることを説明したりしながら、作業を行うようにする
4/25(木) 9:00	晴れ	気温(21℃)	<ul style="list-style-type: none"> ● セルトレイの底穴から根がどれくらい出ているか確認 (写真 3) 底穴から根が出ている場合は主根が伸びている証 主根が底穴から伸び、根の先端が乾いて傷むと側根が出てくる。側根が増えるとは、土中の養水分を吸収する根が増えることで、土の渴きに強く、かつ、養分吸収も盛んで、定植後も、水切れに強く、元気な苗に育つ 側根が十分に育っている頃が植替えの目安になるので 今後も観察する ● 鉢替え(鉢増し) ポット苗を一回り大きなポットに植え替える作業を鉢替え(鉢増し)という。急に鉢を大きくしすぎると、土が乾かずに根の数も増えない。結果的に、植え替え後の根の枝分かれが不十分になって鉢内の根が少なくなってしまうため、一回りか二回り(1号分が一回り=3cmにあたる)大きな鉢を選ぶこと。今回は3号鉢から5号鉢に植え替えた 苗の根元を二本の指(普通はひとさし指と中指)で挟み、逆さにして、鉢から苗を取り出す(根がしっかりと張っていればスポッと外せる)。外したら、根を切らないよう注意しながら根鉢を軽くほぐして上を向いた根を下に向ける。 新しい鉢に土を、(その上に苗を置いた時にウォータースペースが1cm取れる程度の量)入れたら、先ほど外した苗を鉢の中央に置き、土を苗と鉢の間に入れる。このとき、鉢の上端から約1cmのところ土表面が来るようにする(これがウォータースペースとなる)。植え替える苗が曲がって成長していた場合は、真っ直ぐになるよう斜めに配置する。土を足したあと、割り箸を土にさして、箸をゆすりながら抜いていくと、鉢内の空間にも土が入る。さらに、鉢の縁を両手で
		最高(28℃)	
		最低(16℃)	

2024 年度 0 時間目の記録

			<p>持ち、机上でとんとんして整え、仕上げに根元を押さえて鉢替え(鉢増し)の完了である</p> <p>最後に灌水して落ち着かせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 土の配合(写真4) <p>鉢替え(鉢増し)にあたり、以下の配合で培養土を作った。 市販培養土:日向土(小):赤玉土(小)=10:1:1 肥料:0.02(容量の2%程度)</p> <p>肥料はマグアンプK(中)を用いた。この肥料は、根から分泌される有機酸(根酸)と反応することで肥料分が溶け出すため、播種時から混用することもできる(播種した際の時期は溶け出さず、成長して根が十分に伸長し始めた頃に効いてくるため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 注意点 <p>直根性植物は一本の根を太くまっすぐ伸ばし成長するため、植替や移植の際に根を傷つけると痛めると致命傷になるので、頻りに移植しない(そのため、2-3号ポリポットに種をまき、鉢替えせずに定植することが多い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分のひとつかみ分のグラム数を知っておくと役に立つ <p>手のひらの大きさ、肥料の粒子の大きさの違い(粒状肥料と粉状肥料)により重さは異なるが、目安として知っておくと便利</p>
4/26(金) 9:00	曇り	気温(23℃)	● セルトレイに灌水
		最高(27℃)	● セルの大きさと葉の広がりと同じくらいになってきた
		最低(14℃)	● ジニアにアブラムシを発見
4/27(土) 9:00	曇り	気温(22℃)	● 植物の乾き具合を見て灌水
		最高(27℃)	● エダマメの本葉が大きく成長 2枚目の本葉が出始めた苗も確認
		最低(17℃)	● ハツカダイコンの肥大が進んでいる
4/28(日) 6:30	晴れ	気温(16℃)	● 未発芽数
		最高(27℃)	ジニア 2 バジル 2 ヒヤクニチソウ 1
		最低(14℃)	マリーゴールド 1 発芽率によるものと推測される

2024 年度 0 時間目の記録

写真



写真 1 播種後 18 日目 ハツカダイコン



写真 2 摘心の様子

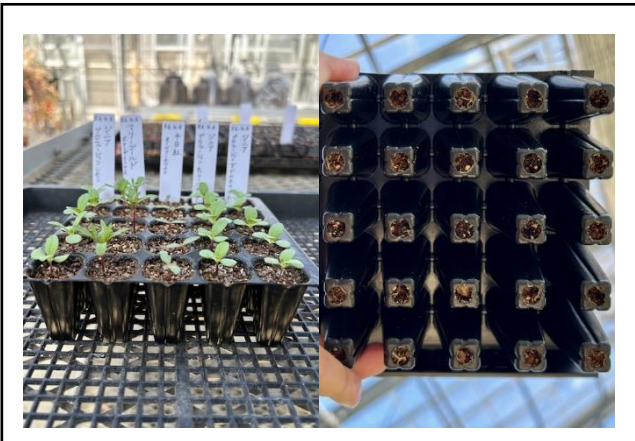


写真 3 4/25(木) セルトレイ



写真 4 土の配合